

# 有田・下津地域の 石積み階段園みかんシステム



世界農業遺産

令和7年8月認定

## 和歌山県有田・下津地域

有田・下津地域では、400年以上前から農家の手により壮大な石積み階段園を築き上げ、自然条件を巧みに活かした多様な温州みかんの品種系統の導入と、果実の貯蔵技術を駆使することで、8ヶ月におよぶ長期間の温州みかんの安定生産・出荷を実現しています。

※和歌山県海南市下津地域は平成30年2月、和歌山県有田地域は令和3年2月に日本農業遺産に認定済み。

### 日本のみかん産業を牽引



江戸時代には共同出荷組織「蜜柑方」(みかんがた)が組織され、古くからみかん産業を発展させてきました。

### 蔵出しみかん



収穫したみかんを園内に作った木造・土壁の蔵で貯蔵し、1か月以上熟成させることで余分な水分と酸味が抜け、甘くまろやかな味わいになります。



有田・下津地域のイメージ

### 石積み階段園



山を開墾して石積み階段園を築き、高品質なみかんを生産しています。

### 生物多様性



みかんの樹の中に巣を作り、害虫の青虫をエサに子育てをする小鳥がいます。みかん畑を中心に特有の生態系が築かれています。

ホオジロのヒナ

# 世界農業遺産認定による効果

## 農林水産業

### 農業遺産認定を活かした販売促進活動

- 本システムの価値をイベントや商談会で情報発信し、認知度向上を図る

- 食品関連展示会、イベント等への出展：14回(R6)
- 市場とみかん販売者との商談機会創出：8回(R6)



産品商談会

### 気候変動に適応した品種の探索

- 1品種を新規登録、栽培法を研究(R6) → 新品種探索の継続実施中

## 次世代への継承

### 熟練者を講師とした技術研修会の開催

- みかんの生産性向上に不可欠な栽培技術や石垣積みの技術を受け継ぐため、みかん生産者を対象に研修会を実施

- 栽培技術研修会：10回実施(R6)
- 石積技術研修会：2回実施(R6) → 2回実施(R7)



石積技術研修会

### 温州みかん農業を継承するための対策

- 就農商談会：4回開催(R6)
- 援農ボランティア：76人(R6)

## 文化、価値観の周知

### システムの文化と歴史的価値の周知

- 本システムの特徴や重要性を知ってもらうため、地域住民の対象にした農業遺産講座を実施

- 農業遺産講座の実施を計画中

### 子供への教育活動

- 小中学生を対象にした農業遺産の授業を実施、消費促進を目的としたみかんの配布

- 課外授業の実施：26回実施(R6)



摘果作業の課外授業

## 生物多様性の推進

### 環境に配慮した温州みかん栽培

- 環境にやさしい農業を実践するみどり認定されたみかん農家を増やす

- みどり認定農家数：39農家(R6)

### 遺伝資源の保全

- 遺伝資源保存園でみかん品種の保存

- 品種保存：142品種を保存(R5) → 継続して保存



田口早生

きゅうき



相実

紀の国